

菌士郎® ATP 除去試薬 (LL100-3)

取扱説明書

I. 試薬の概要	2
II. 製品構成	2
III. 使用方法	2
IV. 関連製品	3
V. 使用上の注意	3

保存温度	-20°C
使用期限	外箱に記載

I. 試薬の概要

菌士郎[®] ATP 除去試薬「LL100-3」は、検体中のバックグラウンド ATP(アデノシン三リン酸)を分解除去する試薬です。検体中に微生物由来以外の ATP(バックグラウンド ATP)が多量に含まれており、微生物由来の ATP 量を正確に測定できない場合に使用します。

ホタル・ルシフェラーゼ発光反応は、ルシフェラーゼによるルシフェリンの酸化を通して光を生じる反応です。ルシフェリンは、ルシフェラーゼ、マグネシウムイオン(Mg²⁺)の存在下において ATP と反応した後、酸素(O₂)と反応して励起状態のオキシルルシフェリンを生成し、基底状態に戻る際に光を発します(図1)。

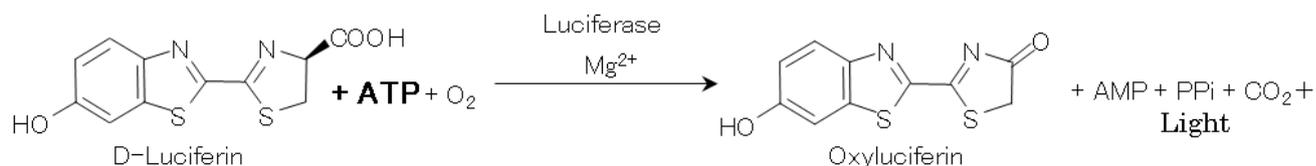


図1. ホタル・ルシフェラーゼ発光反応機構

II. 製品構成

製品名	メーカーコード	構成
菌士郎 [®] ATP 除去試薬	LL100-3	・ATP 除去試薬(12ml)

III. 使用方法

- ☞ 試薬への ATP の混入を防ぐため、全操作に渡り、手袋およびマスクの着用をお勧めします。
- ☞ 繰り返しの凍結融解により、ATP 分解能が低下することがあります。一度の測定で使い切らない場合は、必要量ずつ小分けにし、凍結融解をできるだけ避けることをお勧めします。

<プロトコル> ATP の除去

- | | |
|--------|--|
| ATP 除去 | <ol style="list-style-type: none">1. 検体 100 μl をチューブに入れます。
☞ ふき取り検査を行う場合の検体溶液の調製は、お客様の条件に従って下さい。2. ATP 除去試薬 100 μl を添加し、15~30 分間、室温で静置します。(3. 別売品の菌士郎[®]ATP 抽出試薬「LL100-2」を用いて、ATP を抽出します)(4. 別売品の菌士郎[®]ATP 発光キット Ver.2 「LL100-1-2」を用いて、発光量を測定します) |
|--------|--|

IV. 関連製品

製品名	メーカーコード	構成	保存条件
菌士郎® ATP 発光キット Ver.2	LL100-1-2	<ul style="list-style-type: none"> ・ATP 発光試薬 Ver.2 (凍結乾燥品) ・発光試薬溶解液 (12ml) ・ATP 標準試薬 ($1 \times 10^{-7}M$, 5ml) 	<p>-20℃</p> <p>※調製後の発光試薬は-80℃</p>
菌士郎® 高感度 ATP 発光キット	LL100-1-2HS	<ul style="list-style-type: none"> ・ATP 発光試薬 HS(凍結乾燥品) ・発光試薬溶解液 HS (12ml) ・ATP 標準試薬 ($1 \times 10^{-7}M$, 5ml) 	<p>-20℃</p> <p>※調製後の発光試薬を 3ヶ月以上保管する場合は-80℃</p>
菌士郎® ATP 抽出試薬	LL100-2	<ul style="list-style-type: none"> ・ATP 抽出試薬 (12ml) 	<p>4℃</p>
菌士郎® Bact-Collect ATP 発光キット	LL100-BCHS	<ul style="list-style-type: none"> ・ATP 発光試薬 BCHS(凍結乾燥品) ・発光試薬溶解液 BCHS (12ml) ・ATP 標準試薬 ($2 \times 10^{-9}M$, 5ml) ・ATP 抽出試薬 (12ml) ・試薬 C (50ml) 	<p>-20℃</p> <p>※調製後の発光試薬を 3ヶ月以上保管する場合は-80℃</p>

V. 使用上の注意

- ご使用前に必ず安全データシート(SDS)をお読み下さい。
- 本製品を研究用途以外には使用しないで下さい。
- 日本国内のみで使用して下さい。
- 使用期限と保存条件を必ず守って下さい。
- 本製品を火気に近づけないで下さい。
- 本製品の廃棄は、お客様の施設の廃棄ルールに従って処分して下さい。
- 本製品に使用する他の試薬・器具・機械は、使用前に必ず各々の使用説明書をよく読み、その指示に従って調整・準備を行って下さい。
- 本製品に使用する他の試薬・器具は必ず滅菌して下さい。
- 材質によっては、試薬の付着により腐食・変色する場合があります。試薬が付着した器具・機械は蒸留水でよく洗浄して下さい。
- 試薬類を誤って飲み込んだ場合は、応急処置として水を飲ませ、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 手袋、保護メガネ等により適切な身体保護を施し、試薬類の身体への接触を避けて下さい。試薬類が目に入った場合や皮膚に付着した場合は、応急処置として水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- その他、不明な点がございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ先

東洋ビーネット株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目2番1号
E-mail: b-net.bio@artiencegroup.com
HP: <https://artiencegroup.com>